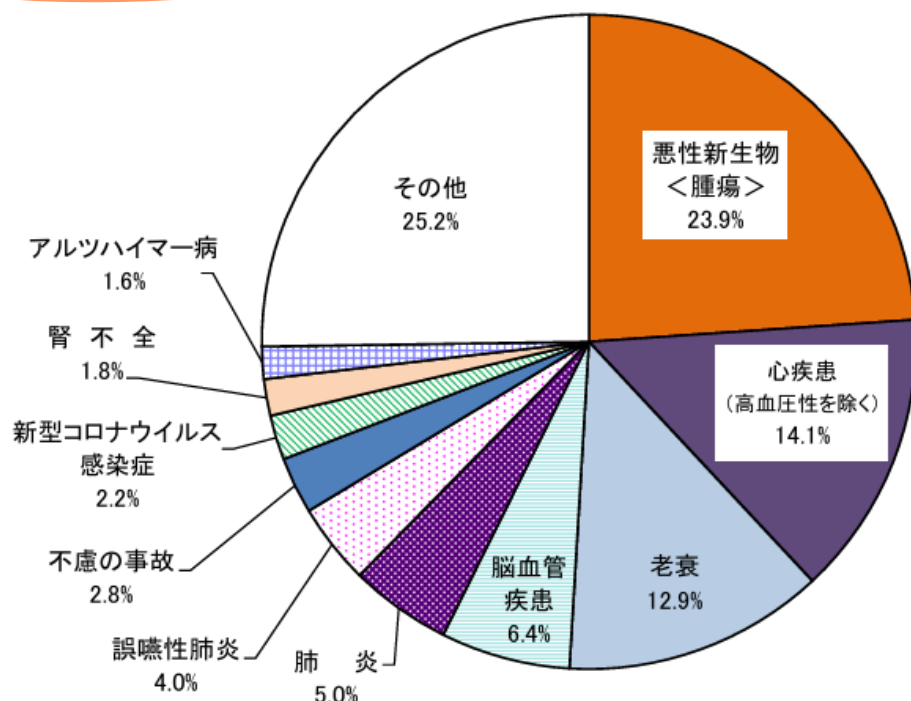


日本人の三大死因から見える 「ケアする力」の重要性

右の円グラフは、2024年の日本における死因の割合を示したものです。1位は相変わらず「がん」ですが、その割合は年々減少傾向にあります。2位は「心疾患」で大きく変わらず、近年急増しているのは3位の「老衰」です。10年前の2倍となります。脳卒中と感染性の肺炎は減少傾向にあります。老衰が急増している理由は、高齢者の増加によるものですが、在宅医療が担うことが多い「慢性心不全」の増加がここに含まれていると考えられます。

本講座では、がん・心不全・老衰といった3大死因をテーマとし、家庭での注意点などについて知識と理解を深めるセミナーにしたいと思います。



厚生労働省 令和6年人口動態統計月報年計（概数）より引用

日時： 11月30日（日） 14:00 ～ 16:30

場所： Zoom ウェビナー（オンライン）
事前登録が必要です。右のQRコードを携帯電話等で読み込み登録サイトにお進みください。

基調講演： 「我が国の三大死因よもやま話」
石心会 第二川崎幸クリニック 院長
関川 浩司 先生

パネル討論： 浅田 浩明 先生（理学療法士）
石心会 川崎幸病院 リハビリテーション部 部長
漆畑 俊哉 先生（薬剤師）
日本心不全薬学共創機構 代表理事
関川 浩司 先生（医師）
石心会 第二川崎幸クリニック 院長
深井 純子 先生（主任介護支援専門員）
石心会 在宅事業部 地域ケアコーディネーター
増田 邦子 先生（管理栄養士）
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士・評議員

島崎 眞（司会）
ナノ医療イノベーションセンター コミュニケーションマネジャー



事前登録サイト



第二川崎幸クリニック
関川 浩司 院長先生
ご略歴は右のQRコードから



プログラム
講演要旨
登壇者紹介
等